

施策評価シート(令和2年度実施施策)

総合計画 体系	政策	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策	3-5	施策名	支えあい尊重される社会の実現	施策主管 課長名	平山 正孝
関係課	政策財政課 町民税務課 健康ふくし課					

1. 施策の目的

対象	町民（法人・事業所も含む）	意図	互いに支え合い、自立して暮らすことが出来、誰もが社会の中で等しく尊重される
----	---------------	----	---------------------------------------

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値 下段：実績値				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
必要な時に隣近所など地域で支えあって生活している町民の割合（増加）	%	63.5	64	64.5	65	66	67
			76.4	74.6	69.8	70.7	69.5
人権を侵害されたことがある割合（減少）	%	13.0	12.5	12	11.5	11	10
			8.6	11	12.6	9.4	7.9

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

年齢が高くなるほど隣近所で支えあって生活していると感じている人が多く、支えあいの内容では、話し相手、お茶のみ、安否確認の声かけ、食品のお裾分け、物品の貸し借りが大半を占めている。特に高齢者に対する日常的な支えあいの意識が浸透してきていると考えられる。
50歳以上の年代において人権が侵害されたことがあると答えた割合は全体的には減少している。人権侵害の内容で最も多かったのは、名誉・信用のき損、かげ口で全体の46%を占めている。

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員による小学3年生を対象とした子ども人権教室、中学1年生を対象とした人権教室や人権の花活動を各学校で開催し、人権尊重の理念の普及を図った。 ・虐待事案に対し迅速に対応するため、虐待防止ネットワーク会議等を中心に関係機関と情報共有や解決に向けた協議を行った。 ・地域福祉計画推進委員会を開催し（2回）、第3期地域福祉計画の進捗管理及び実績の確認を行った。 ・第3次男女共同参画推進まちづくり行動計画に基づき、中学生を対象としたイラスト付きメッセージの募集や町内事業所への普及啓発を行った。
--

5. 次年度の方向性

引き続き、第3期地域福祉計画の推進に向けて進捗管理を行い、取組内容の改善につなげるとともに、計画の普及啓発と「助け合い 支え合い」の意識醸成に努める。また、人権擁護活動については、引き続き啓発活動を行い、町民の意識改革を図る。虐待については、虐待防止ネットワーク及び地域見守りネットワークを活用し、虐待等の防止及び早期発見並びに適切な支援に努める。男女共同参画推進については、令和4年度から5カ年間を計画期間とする第4次男女共同参画推進まちづくり行動計画を策定し、継続した啓発活動を実施する。
--

重点的に取り組む課題

第3次地域福祉計画の普及啓発の実施
人権擁護、男女共同参画の継続した啓発活動の実施
虐待事案に迅速に対応するための関係機関との連携強化

施策の重点事業

地域福祉計画管理事業
人権普及啓発事業
男女共同参画推進事業
総合福祉支援事業

6. 施策を構成する事務事業

番号	事業通番	事務事業名	令和2年度決算額 (千円)	最終評価結果	
				事業実施の方向性	成果の方向性
1	4164	ふれあいセンター維持管理事業	12,112	継続	現状維持
2	4463	人権啓発活動活性化事業	35	継続	現状維持
3	4888	男女共同参画推進事業	125	継続	現状維持
4	5738	社会福祉協議会補助金交付事務	22,002	継続	現状維持
5	5848	更生保護団体補助金交付事務	280	継続	現状維持
6	5849	民生児童委員協議会補助金交付事務	3,150	継続	現状維持
7	5851	地域福祉計画策定事務	30	評価対象外	評価対象外
8	5879	社会福祉事業団体補助金交付事務	57	継続	現状維持
9	5886	虐待防止に関する事務事業	30	継続	現状維持